

藤前干潟ってどんなところ？



藤前干潟は伊勢湾最奥部に位置し、愛知県西部の庄内川、新川、日光川の3河川が合流する河口部に位置しています。

潮が最も引いたときには、238ヘクタール（東京ドーム50個分）という広大な干潟が現れます。



上空から見た藤前干潟 ©名古屋環境局



広大な泥の平原が広がる

潮の満ち引きで多様な環境が作られ、多くの生き物が生息しています。

潮の満ち引きで多様な環境が作られ、多くの生き物が生息しています。



画像をクリックすると「Youtube環境省動画チャンネル」
を新しいウィンドウで表示します。



シギチ群れ



ハマシギ群れ



スズガモ 撮影：森井豊久



アナジャコ



トビハゼ



チゴガニ

藤前干潟は人口200万人が住む大都市である名古屋市内にあります。そこには、鳥類が172種類、底生生物（貝、カニ、ゴカイなど）は174種類が年間を通して確認されています。また、藤前干潟には、餌（底生生物）をとったり、羽を休めたりするために世界各国から渡り鳥が訪れます。その数時には、1種で3万羽にまでなることもあります。まさに藤前干潟は都市に残された生き物たちのオアシスです。

お問い合わせ

環境省 名古屋自然保護官事務所
〒455-0845
名古屋市港区野跡4丁目11番地2号
TEL 052-389-2877
FAX 052-389-2878

稲永ビジターセンター

〒455-0845
名古屋市港区野跡4丁目11番地2号
TEL 052-389-5821 FAX 052-389-5822

[▶ 利用申請ページへ](#)

藤前活動センター

〒455-0855
名古屋市港区藤前2丁目202番地
TEL 052-309-7260 FAX 052-309-7261

[▶ 利用申請ページへ](#)

MAIL WB-NAGOYA@env.go.jp

保全について



[保全までの経緯](#)

[保全の仕組み](#)

[保全活用](#)

[藤前干潟が抱える問題](#)

[私たちにできること](#)

保全までの経緯

保全までの経緯

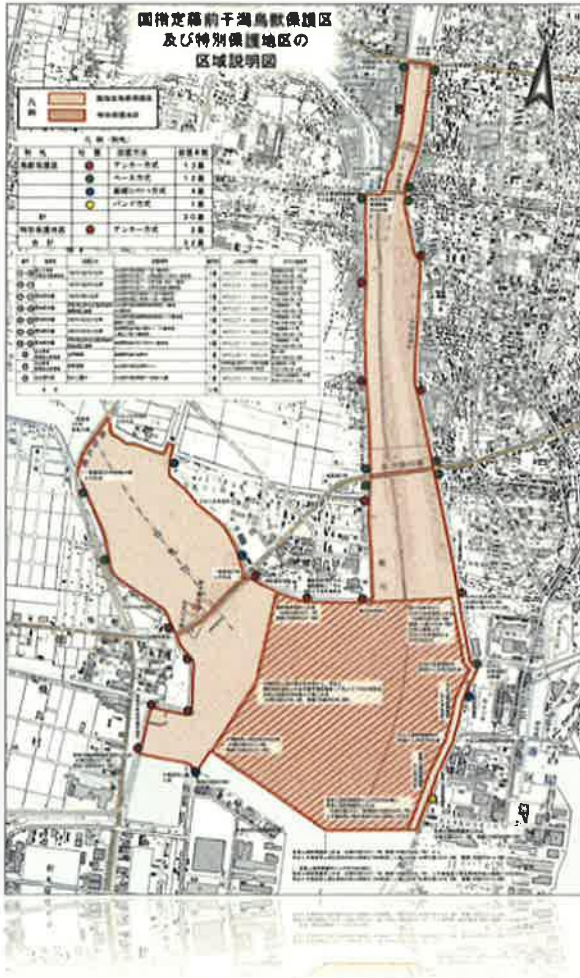
藤前干潟は、大都市港湾、工業地帯に囲まれているため、周辺で大規模な埋立が進められてきた中でわずかに残されました。干潟の一部にごみ処分場が計画された時には市民・研究者と行政の最終判断により断念され、これが契機となって名古屋市はごみ減量化に大きな一歩を踏み出しました。このように藤前干潟は自然環境の保全上重要な場となっただけでなく、大都市が循環型社会への取組みを大きく推進させる転機となった好例としても大きな意味を持っています。生命のすばらしさや干潟環境の美しさ・豊かさ、循環型社会のあり方を“楽しみながら考える場”として藤前干潟の可能性は大きいです。



保全までの経緯（マンガ）

保全の仕組み

保全の仕組み



クリックすると詳細ホームページ
にリンクします。

ラムサール条約湿地

平成14年（2002年）11月藤前干潟は国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録されました。登録の理由は、

- (1) 2万羽を超える水鳥を定期的に支えていること
- (2) 動植物のライフサイクル上の重要な段階を支えていること
- (3) 国際的に絶滅のおそれのある種又は生態学的群集の生存にとって重要だと考えられることの3点です。詳細は、

[環境省「ラムサール条約と条約湿地」ページへ](#)

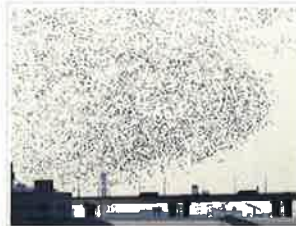
なお、ラムサール条約湿地に登録されるためには、鳥獣保護区特別保護地区に指定されるなど、将来にわたって、自然環境の保全が図られることが必要です。



ライフサイクル上重要



希少種（クロツラヘラサギ）



年間2万羽の水鳥

保全活用

保全活用

藤前干潟協議会

【目的】

(1) 日本有数の渡り鳥渡来地である藤前干潟の保全と活用をはかる。

(2) ゆたかな伊勢湾と流域環境をとりもどし、持続可能な社会を実現する。

【設立趣旨】

(1) 透明で、開かれた、対等な議論及び情報交換の場として設置。

(2) 会の目的に賛同し、意欲的に参加し、協働することをのぞむ団体、個人は誰でも会員になることができる。(オブザーバーとしての参加も可能)



藤前干潟協議会の様子

協議会の議事録は公表しています。ご興味のある方は名古屋自然保護官事務所までご連絡ください。

調査

環境省では保護区内の巡視、鳥獣の生息状況の調査、利用者の指導等を行う鳥獣保護区管理員を設置しています。その調査結果が以下に報告されています。

[環境省「渡り鳥の飛来状況」ページへ](#)

その他様々な大学・機関が藤前干潟の調査をしています。



干潟調査



鳥獣保護区管理員鳥類調査



鳥獣保護区管理員底生生物調査

清掃活動

市民、企業、行政が協力してクリーン大作戦をしています。

市民によって構成されるクリーン大作戦実行委員会や藤前干潟周辺の自治会が主体となって行っています。

[藤前干潟クリーン大作戦実行委員会](#)

[HPへ](#)



クリーン大作戦の様子

藤前干潟が抱える問題

藤前干潟が抱える問題

ごみ問題

藤前干潟は不法投棄、漂着ごみが非常に多いです。ごみは生き物の命を奪い、それは最終的には人に影響を及ぼす可能性もあります。絶対にごみは捨てないようにお願いします。下の写真は、藤前干潟周辺のごみのひどい場所です。保全された藤前干潟でもまだ問題は残されています。



永徳スリップ



戸田茶屋排水機場南



南陽海洋名四



導流堤ごみ



中部運輸前



庄内川新川大橋南新川右岸

環境省では、警察など関係機関と協力してゴミの問題を監視しています。

貧酸素問題

貧酸素水塊とは？

排水の中に含まれる窒素やリンが海に流れ込むとプランクトンが大量発生し、これが死んで海底に死がい（死骸）が溜まり、それが分解されると海水中の酸素が大量に消費されます。酸素が極めて少ないこの海水の塊を【貧酸素水塊】といい、この状態では生き物は生存できなくなってしまいます。また、この水塊は満潮時には隣接する河川を数キロまでさかのぼることも確認されています。



私たちにできること

私たちにできること

まずは、身近なことから始めよう。

☑ 藤前干潟に行ってみよう！

藤前干潟には稲永ビジターセンターや藤前活動センター、名古屋市の野鳥観察館などの施設があり、楽しく藤前干潟を知ることが出来ます。『ふれあいデー』や『クリーン大作戦』などのイベントも開催しています。まずは藤前干潟に来て魅力を体感しよう！！スタッフもお待ちしています。



クリーン大作戦

☑ 自分の生活を見直してみよう！

藤前干潟は上流からの影響を強く受けます。汚い水を流すと藤前干潟は汚れてしまいます。

■ 魚が懐める水にするには、こんなに水が必要です！

米のとぎ汁(2ℓ) よくすすぐ → 浴槽1.2杯

みそ汁(碗1杯) すすぐ → 浴槽4.1杯

ビール(200ml) すすぐ → 浴槽12杯

■ 家庭でできる生活排水対策

- 調理くずや食べ物の残りを水と一緒に流さない
- 食事を作りすぎない
- 洗濯洗剤は正しく計って使う、などなど

もっと深く知りたくなったら。

☑ 上流域の森に出かけてみよう！

藤前干潟の豊かな生態系は森から流れ出る一滴の水からはじまります。川から流れ込む養分などを元に、藤前干潟の生態系が成り立っているのです。つまり、干潟に流れ込む川の上流の保全も大切なことなのです。市民と研究者が協働して「海健康診断」・「川健康診断」・「森健康診断」などが行われています。これらの活動は、生物多様性を保全することにつながります。皆さんも生物多様性の重要性を実感してみませんか？



土岐川・庄内川源流森の健康診断

生物多様性についてもっと知りたい方

[環境省「生物多様性」ページへ](#)

お問い合わせ

環境省 名古屋自然保護官事務所

〒455-0845

名古屋市港区野跡4丁目11番地2号

TEL 052-389-2877

FAX 052-389-2878

MAIL WB-NAGOYA@env.go.jp

稲永ビジターセンター

〒455-0845

名古屋市港区野跡4丁目11番地2号

TEL 052-389-5821 FAX 052-389-5822

[利用申請ページへ](#)

藤前活動センター

〒455-0855

名古屋市港区藤前2丁目202番地

TEL 052-309-7260 FAX 052-309-7261

[利用申請ページへ](#)